

(1)事業の概要等

事業番号	B1803
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	スポーツ広場運営事業					担当部			こども未来部		
	事業期間	平成7年度	～	令和4年度			担当課			多世代交流プラザ		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	18	展開方向	3	担当係			男女共同参画係		
	予算区分	一般会計	款	2	項	1	目	15	大	5	中	1
	根拠法令・個別計画	-					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	スポーツを通じた市民の体力及び健康の推進を図ることを目的に、施設の整備とソフト事業の充実を図り、スポーツ広場の利用促進に努める。 また、多世代交流プラザの名称のとおり、スポーツ広場の利用する年齢層の拡大に取り組む										
	対象 (何・誰を対象に)	市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和3年度の実施内容</p> <p>○下記事業を委託し、開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィットネススタジオ (毎週29本のエアロビクスなどのスタジオプログラム) ・デーテニス教室(毎週4クラス16本のプログラム) ・親子テニス教室、こどもバレエ教室など (8種25講座延べ143回開催) <p>○アリーナ、フィットネススタジオなどの施設貸し出しを行った。</p> <p>○スポーツ施設の維持管理とスポーツ器具の整備に努めた。</p> <p>●直接経費 48,803,231円 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 5,115円 ・印刷製本費 149,600円 ・スポーツ広場管理運営委託料 40,700,000円 ・トレーニング器具等保守管理委託料 242,000円 ・スポーツ広場管理運営事務システム保守管理委託料 528,000円 ・電子計算機借上料 35,046円 ・スポーツセンタートレーニング器具等借上料 6,891,780円 ・備品購入費 251,690円 <p>※施設管理費は2-1-15 多世代交流プラザ施設管理事業にて計上</p>										
受益者負担	有	施設使用料(17,791,827円)、講座受講料(3,520,432円)、定期利用券再発行手数料(10,400円)、ロッカー使用料(48,980円)										

(2)事業費

		項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	54,490	53,281	46,518	45,224
		国・県支出金	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	6,940	5,875	3,379	3,580	
	計(A)		千円	61,430	59,156	49,897	48,804	
	対前年比		%	—	△ 3	△ 15	△ 2	
	予算額		千円	63,107	63,645	66,730	56,010	59,954
人件費	正規職員		人	1	1	1	1.0	
	正規職員(平均賃金)		千円	3,743	7,486	7,486	7,486	
	その他職員		人	0	0	0	0	
	その他職員(時給×時間)		千円	0	0	0	0	
	計(B)		千円	3,743	7,486	7,486	7,486	
事業費合計(C=A+B)			千円	65,173	66,642	57,383	56,290	

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	18	展開方向			3
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4	
1	市が管理するスポーツ施設の年間利用者数	人	↗	988,000	835,301	349,651	385,399	
2								
3								

指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
成果指標	スポーツ広場 利用人数	人	目標	160,000	160,000	160,000	80,000	80,000
			実績	161,721	144,634	74,608	80,126	
成果指標	まなびスポーツ教室 参加人数	人	目標	7,000	7,000	7,000	3,500	5,000
			実績	7,723	6,593	3,935	4,720	
活動指標	講座開催回数	回	目標	933	927	840	777	773
			実績	933	927	751	772	
単 位 事 業 あ た り 費	受益者数(a)	人		161,721	144,634	74,608	80,126	
	受益者あたり事業費 (=C/a)	円		402	460	769	702	

(4)事業の評価

事業の方向性	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの
事業の 評価	事業の達成状況と課題	<p>令和元年、2年度と、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止対策の発令により、施設閉鎖や利用制限等を実施したため、計画通りにスポーツ教室や講座を実施することができなかった。</p> <p>今年度以降も施設利用の制限を継続しながらの運営が想定されるため、基本的な感染防止対策をとりながら、教室や講座を計画通りに開催していく予定である。</p> <p>今後、委託料削減のため、スポーツ広場の管理運営委託事業の内容や稼働回数の少ないトレーニング機器について、見直しを行う予定である。</p>
	今後の実施内容	<p>近年、小牧市内に民間のトレーニング施設が増えてきている状況であるため、民間でやること、公共がやるべきことを整理し、まなび創造館トレーニングジムのあり方について検討を行う。</p> <p>委託料削減のため、スポーツ講座開催の回数や内容について精査するとともに、稼働回数の少ないトレーニング機器を精査し、リース更新の要否を検討する。</p> <p>また、まなび創造館の「スポーツ広場管理運営委託」と「まなび創造館窓口業務等委託」の統合についても検討をすすめる。</p>
	事務事業評価による額	<p>805 千円 節 13 細節 細々節</p> <p>リース更新を、必要な機器に限定し再リースすることで805,860円削減 「スポーツ広場管理運営委託料」と「まなび創造館窓口業務等委託」の統合は令和5年度からの実施検討であるため、今年度の削減額は0円</p>